

平成 29 年 12 月 11 日

各位

三洋貿易株式会社
代表取締役社長 増本 正明

取締役会の実効性に関する自己評価結果

当社では取締役会の実効性評価のためのアンケート調査を実施致しました。
その分析結果の概要につき下記の通りお知らせ致します。

1. アンケートの実施要領

対象者：取締役 8 名（内社外取締役 3 名（内監査等委員 2 名））

方式：記名式アンケート

各設問に対する選択及び自由記述

実施期間：2017 年 12 月 1 日～8 日

アンケート項目：①取締役会の構成

②取締役会の運営

③経営全般に関する実効性

2. 分析・評価の結果

①取締役会の構成

当社取締役会の人数、構成、社外取締役の人数・割合および監査等委員の人数・割合は概ね適切であり、経営上の重要な意思決定および業務執行の監査・監督を適性に行うための体制は整っている事を確認致しました。

②取締役会の運営

取締役会の開催頻度、上程議案の数、取締役会資料の内容、議長の議事進行、事務局の運営などは概ね適切に行われており、取締役会では社外取締役（監査等委員を含む）も含めて自由闊達な意見交換が行われていることが確認されました。尚、昨年度の自己評価で課題としていました議事内容の事前説明に関しましては、今年度より重要案件につきましては担当者による社外取締役への事前説明会を実施するなど改善を進めております。

③経営全般に関する実効性

取締役の各種研修の機会の提供、取締役間の意思の疎通、内部監査室との連携などに特段の問題はない事を確認致しました。また、IR や情報管理も概ね適切に行われている事を確認致しました。一方で、長期的な経営戦略の方向性については社外役員も含めてもっと議論の場を設けるべきとのご指摘がありました。

3.今後の対応

上記分析・評価の結果、当社取締役会は概ね適切に行われているものの認識ではありますが、より実効性の高い取締役会とするため、引き続き以下につきまして改善を図ってまいります。

- *取締役がその役割・責務を遂行する上で必要な知識・情報提供の機会拡充。
- *取締役会議題資料の提出時期の更なる早期化。
- *長期的な経営戦略の方向性に関する議論の深化。

以上